

平成25年度 燕市西蒲原郡生徒指導部 活動報告

部長 齊藤 毅

1 研究主題

子どもが主体的に生活を向上させるための工夫

2 研究の概要

- (1) 第1回部会 期日：6月5日(水) 会場：松長小学校
3つのテーマにそって、自校の取組と成果を紹介しながらグループで情報交換
- (2) 第2回部会 期日：12月4日(水) 会場：松長小学校
講義・演習：「コミュニケーション アサーション」
講師：小池小学校長 齊藤 毅

3 研究の実際

(1) 第1回部会

① アンケートとその後の取組

・生活アンケートやQ-Uをとり、その結果をもとに教育相談を実施。全校体制で行うことで子どもの話をしっかり聞くことができる。

② 絆づくり月間の取組

・良いとこ探しや縦割り班活動を通して児童の交流を図っている。家族や地域（挨拶運動）との絆を深める取組を実施し効果が上がっている学校もある。

③ 学習スキル、生活のきまり

・市や村、学校で重点を決め、児童会も活用しながら、学習や生活のきまりを守れるよう取り組んでいる学校が大半である。全校朝会でパワーポイントを使って、わかりやすく生活のきまりを紹介している学校もある。

(2) 第2回部会

① アイスブレイク 誰にでも公平にチャンス 誰にでもわかるルール 結果がすぐ出る いつでもどこでも（授業 休み時間 帰りの会） 誰とでも 勝負がはっきりするという特性をもつ「じゃんけん」でアイスブレイクを実施

② コミュニケーション

・自己理解～コミュニケーションを考える際、まずは自己理解が必要

[演習] T S T 私は～

[演習] いじめの反対語を考える～ブレイン・ストーミング～

③ アサーション

[演習] 自己表現3つのタイプ

ア なぜアサーティブになれないか

イ 考えと行動 「論理療法」について 生理反応、思考、感情、行動の関係

ウ 日常会話におけるアサーション（メンテナンス）

エ アサーションができるようになるための条件

オ D E S C法（課題達成 問題解決のためのアサーション）

カ [演習] 学校で使える子ども向けアサーショントレーニング

4 成果と課題

・今年、第1回の部会でテーマをしぼり、グループによる意見交換をおこなったことで話し合いが焦点化されよかった。また、第2回は例年と同じように講義演習という形で行った。年2回という限られた回数、時間の中での運営、生活指導主任が主な参加者であるという点で、この方法は有効であると考えている。

・講義だけでなく、実際に個人やグループでの演習を通してテーマに関して実感することや具体的な資料は、その後の各自の実践に結びつきやすい。